



盛人大学が入る予定のビル。1階に電気店や交番、裏側に市立並木保育園がある。川口市のJ R西川口駅東口

西川口に「盛人大学」キャンパス

違法風俗店の規制強化で空き店舗が目立つ川口市西川口地区の活性化対策として、川口市は、市民講座「盛人大学」を旧並木公民館跡に移転し、9月に「盛人大学キャンパス」として開講するほか、川口駅の西側にあるパスポートセンターを西川口に移転することを検討している。3月定例会議で、立石泰広市議（自民）の一般質問に岡村幸四郎市長らが答えた。

盛人大学は、現在は川口駅東口のキュポ・ラ内のポートナーステーション（市の集会施設）内にあるが、新しいキャンパスは西川口駅西側の都市再生機構（UR）の高層住宅2階。ここに昨年2

パスポートセンターも移転へ

月まで、並木公民館があり、1階には、川口警察署並木交番、市立並木保育園（園児60人）があった。

市は、地元町会、商店街など政財界人ら51人で2010年3月に発足した「西川口まちづくり懇談会」（座長・大村謙二郎筑波大学院教）を活動する「協議会」に衣替える計画。これのビジョン検討の中では、空き店舗活用法として若手芸術家の稽古場の設置も議論されているという。

同大学は、これまでの農業体験、社会教養、カウンセリング入門の3コースだったが、国際、社会起業・ビジネス、ボランティア入門、コミュニティデザイン、市政の5コースに加え8コースにし、学生数も100人から300人に増やす。

一方、パスポートセンター移転計画は、場所などはまだ白紙。岡村市長は「西川口を健全な町として再生し、活性化させたい。パスポートセンターは集客力を見込める公共施設として、市外の人にも発給でき、活性化を図りたい」と述べた。

早大のゼミ学生つや地域商店会、市民のNPO団体と協力して町おこしの社会実験を展開することも考えているという。農業コースだけは4月から開講するが、ほかのコースは9月開講。

（岸鉄夫）

埼玉新聞

2012年3月13日 火曜日
（平成24年）